

た + す + と

2010年1月

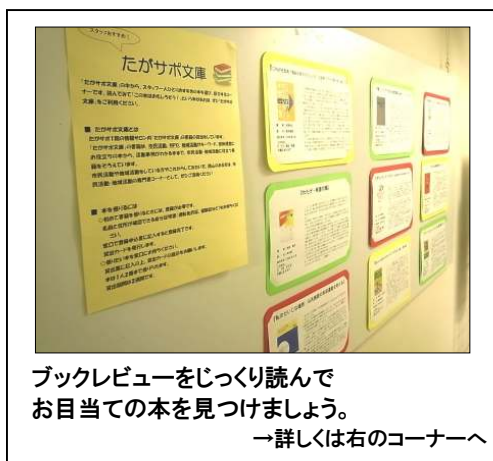
第10号

市民活動や地域活動をしている方、
これからしたいと思っている方に役立つ
情報を隔月で発信しています。

●もくじ●

- P 2 丘の上“はじめの一歩”応援団
経験を活かしてセカンドライフ—エコライフ多賀城
- P 3 市民が集える広場を紹介します
笑顔が集う伝上山のあつまりどころ—あつまりどころ虹
- P 4 第2回マネジメント講座開催報告
準備で決まる！楽しい会議の作り方
- P 5 多賀城市市民活動サポートセンター公式ホームページオープンのお知らせ
たがサポブックレビュー
『コミュニティ・カフェをつくろう！』
- P 6 **たがサポ事業紹介**
『たがサポ』とは？
『たがサポ』の機能って？

今月のひとコマ



「活動のためになる本を読みたいけれど、どれを選んだらいいかわからない。」そんなときに役立つのがブックレビュー、いわゆる本の紹介です。ただいま1階の廊下には『スタッフおすすめ！たがサポ文庫』と題したコーナーが設置されています。

たがサポ文庫がオープンしてから半年。冊数も徐々に増え市民活動に役立つさまざまな分野の本を揃えています。その中からスタッフ選りすぐりの本を、わかりやすく紹介しています。本の内容はもちろん、その活用法やどんな人、どんな団体におすすめかも書かれています。さらに担当したスタッフにたずねれば、本を読むときのポイントを知ることができますし、新たな本の紹介や思いがけない情報を手に入れることができるかもしれません。

今後も新しいレビューを少しずつ追加するのでこまめにチェックしてみてください。ブックレビューをきっかけに活動に役立つ情報をゲットしましょう。

丘の上 “はじめの一步” 応援団

たがサポには市民活動・地域活動に関する相談が日々寄せられています。「何か活動をしてみたい。活動先を教えてください。」という問い合わせから「イベントになかなか人が集まらない。広報のコツを教えてください。」という団体運営に関するものまで、相談の内容はさまざまです。窓口での相談を活用して、元気に活動している団体を紹介していきます。第2回目は『エコライフ多賀城』です。

経験を活かしてセカンドライフ

エコライフ多賀城 代表 菅原陸郎さん

●エコな寺子屋、開催中！

「新聞記事から環境問題について考える」と題して、たがサポを拠点に隔月でセミナーを開催している『エコライフ多賀城』。環境について多くの市民に関心を持ってほしいと、身近な新聞記事をテキストにしなが、誰にでもわかりやすい講座を続けています。

平成20年11月に始まったセミナーは、平成21年11月で7回目の開催となりました。これまでにのべ95名が参加し、多賀城市内で環境について学べる貴重な機会となっています。

●セカンドライフを多賀城で

エコライフ多賀城の代表菅原陸郎さんは、工学の専門家として大学に勤めていました。専門分野は応用化学。退職後はこの経験を活かし、社会のため、人のために何か役に立つことはできないだろうかという思いを胸に、4年前多賀城市に転居してきました。

その際、多賀城を選んだ理由として、まちの規模がポイントになったとのこと。「例えば、仙台市で活動を始めたのなら“100万人のうちの1人”として埋もれてしまう。しかし、多賀城市なら“6万人のうちの1人”として、より活動しやすいと考えたそうです。

しかし、菅原さんはこれまでに、市民活動に参加した経験はありませんでした。そんなとき、新居の近くで偶然たがサポの看板を見つけました。平成20年9月のことです。

●たがサポが提案「市民活動デビュー」

気軽にたがサポに来館された菅原さんは、自らの想いや考えをスタッフに語りました。

その話を受け、たがサポから一つの提案をしました。それはNPOという仕組みを使い、環境保護をすすめる市民活動団体を自ら「旗揚げ」することでした。菅原さんは、これまでの経歴から環境問題に対する高い専門性を持ち、人前で話をするのが得意だったからです。この提案に対し、菅原さんはその場で「挑戦してみる」と返答されました。こうして、菅原さんは「市民活動デビュー」の一步を踏み出したのです。

●広がる・つながる

平成20年10月。菅原さんは『エコライフ多賀城』を設立し、活動を始めました。活動を進める中でさまざまな疑問や悩みと直面しましたが、そのたびに菅原さんは、たがサポのスタッフに相談し、アドバイスを受けながら活動を広げてきました。特に広報活動についてはチラシの作成時にスタッフからアドバイスを受け、配布には「チラシが置ける市内公共施設リスト」なども活用しています。

現在では会員も増え、多賀城市の市民活動団体助成金も獲得して飛躍の年を迎えようとしています。

市民活動デビューによって、いっそうの輝きを増した菅原さんのセカンドライフ。退職を機に広がる可能性がそこにはあります。

※次回の「新聞記事から環境問題について考える」は、平成22年1月23日(土)の開催です。

エコライフ多賀城

〒985-0873

多賀城市中央2-25-3

多賀城市市民活動サポートセンター

レターケースNo. 13

FAX: 022-309-3706

E-mail: m_sgwr@ii.em-net.ne.jp

市民が集える広場を紹介します

多賀城市内には市民活動サポートセンター以外にも、市民活動団体・町内会・生涯学習団体の皆さんが利用できる場所があります。公民館などの公共施設が思い浮かびますが、実は自宅などの個人所有のスペースを地域に開放しているところもあるのです。

今回は多賀城市伝上山にある『あつまりどころ虹』をご紹介します。



笑顔が集う 伝上山のあつまりどころ

あつまりどころ虹 伊藤真弓さん

●商店街の新しい動き

どこでも当たり前のように見られた商店街の風景が失われつつあります。多賀城市の伝上山もかつては商店街がにぎわいをみせていましたが、時代の流れとともにシャッターの下りた商店が目立つようになりました。

そんな商店街の一角に『あつまりどころ虹』という貸しスペースがあります。ここはフリーマーケットやライブ、アート展などのイベント会場としての利用や、近所の人たちによるお茶飲み会議、卓球の練習など定期的な利用もあります。正面がガラス張りになっているスペースには、椅子やテーブル、小さなカウンター、コピー機などもありアイデア次第で活用の仕方が広がります。

●家族の思いを地域へ

『あつまりどころ虹』をオープンさせるきっかけの一つとなったのは、伊藤さんがたまたま目にした新聞記事でした。市民が2階建てのアパートを改造し、地域の人たちのためのグループホームや貸しスペースを行っていることを知り、「自分も同じようなことをやりたい。」と思ったことから具体的な活動が始まりました。

場所は、亡くなった夫がかつて事務所として使っていたスペースを活用しようと考えました。そこは、地域の相談窓口として地域のみなさんが気軽に訪れている場所でした。使われなくなった事務所は、地域の交流スペースとして開放するのにふさわしい場所ではな

いかという思いに至りました。

知人や友人に自分のアイディアを話すうちに応援してくれる人やオープンに向けて手伝ってくれる人が徐々に集まり、平成20年12月、ついに思いを形にすることができました。長女が名づけた「虹」には、虹の色のようになんか色々な人に利用してもらいたいという思いが込められています。名前の通り、読み聞かせやフリーマーケットなどを開催したオープニングイベントでは、たくさんの方が『あつまりどころ虹』を訪れました。

●新たなゴールを目指して

「『あつまりどころ虹』をオープンさせることが、ひとつのゴールでした。」と、伊藤さん。オープンから1年が経過し、実際に運営する中での課題も出てきました。今一番の課題は、一緒に運営してくれるスタッフが不足していること。伊藤さんは仕事をしているため、日中管理できる人がいないことに困っているそうです。

一方、イベントの参加者から「とっても楽しかった。次はいつ？」と笑顔で言われたこともあり、地域のみなさんの喜ぶ顔が大きな励みになっています。今後はより多くの人に活用してもらうため、イベントの開催やチラシの作成なども考えているそうです。

これからも地域の交流の場として活用される『あつまりどころ虹』。イベントやミーティングに利用してみたいという方は、ぜひ問い合わせてみてはいかがでしょうか。

あつまりどころ虹

〒985-0872

多賀城市伝上山2-10-21

TEL:022-367-6994(伊藤)

第2回マネジメント講座開催報告

準備で決まる！楽しい会議の作り方

市民活動や地域活動をしていると出てくるさまざまな悩み。そんなお悩み解決のヒントとなるようなコツや考え方をお伝えするのが「マネジメント講座」です。今年度の第2回目は「会議の仕方」がテーマ。「会議」と聞くと、堅苦しくて退屈な雰囲気や想像する方も多いと思います。今回の講座では、「発言が少ない」「いつも同じ人が話してしまう」「会議が長引いてしまう」など、会議に関する悩みを解決するヒントや、「楽しめない会議」から「楽しい会議」へ変えていくコツを、講師の紅邑さんから学びました。講座当日の内容から、みなさんの活動にもすぐに役立つ情報をピックアップしてお伝えします。

日時:平成21年10月24日(土)
午後1時30分～4時00分
会場:多賀城市市民活動サポートセンター
大会議室
講師:特定非営利活動法人
せんだい・みやぎNPOセンター
常務理事・事務局長 紅邑晶子さん

●会議の「目的」を大事にしよう

会議とは、議題に沿って話し合われた内容を参加者全員で意思決定し、実行に移すために開くものです。そのためには会議の目的を明らかにしておくことが大切です。会議で決まったことを実行するためには、参加者に分かりやすい資料の作成や、話しやすい会場づくりをするなど、事前準備をしっかりと行って会議に臨むことが必要になってきます。

●ちょっとした準備が 会議の質を決める

いざ会議を始めても、なかなか意見が出てこないときがあります。その大きな理由として、参加者が会議の内容を理解していないことがあげられます。何を発言すべきかわからないから、発言したくてもできないのです。

発言しやすくする工夫として、議題を作成して事前に配布することがあります。参加者が事前に会議の内容をわかっていると発言の準備もしやすくなります。その際、議題は「報告（報告する）」「協議（議論する）」「審議（決定する）」にわけておくと、どの議題に時間をかければよいのかがはっきりし、限られた時間を有効に使うこともできます。

また、お茶菓子や花を会場に配置することで、なごやかで楽しい雰囲気を演出するのも効果的です。

このようにちょっとした準備が会議の進行を変えていきます。

●進行にもひと工夫

いきなり会議を始めてしまうと、参加者の

頭の中では会議への切り替えができてないという人も少なくありません。

そこで、準備運動として、参加者の近況報告などを話してもらおうと緊張感がほぐれて話しやすくなります。

また、会議中には様々な意見が出てくるので、書記役を決めてホワイトボードや模造紙に意見を書きながら進行していくと、論点を整理することができます。板書とあわせて進行していくと、話し合いの経過がわかり、そこから新たな意見を生むことにもつながるので効果的に会議を行えます。

●事後は情報共有までしっかりと

さて、ひとつの会議をしたことに満足してしまい、会議後の情報共有を怠ってしまうと、会議の目的である「実行に移す」ことにつながりにくくなってしまいます。会議終了後は、会議で決まった内容を記録し、出席者と欠席者に同じ情報を共有することが大切です。特に、仲の良いメンバー同士だと「みんなは分かっているはず」と思い込んで安心してしまうので、これも要注意です。

講座の中では、参加者の皆さんに事前準備・当日の進行・会議終了後に会議のためにしていることを書き出してみることで、これまでの会議をふりかえってもらいました。「書き出すことで、足りなかったことや改善が必要なことがわかった」との感想がありました。

まずは今の会議から見直していくことが団体成長へのカギになるようです。会議上手になれば、メンバーの思いをより団体の力へと変えていくことができるはずです。



多賀城市市民活動サポートセンター公式ホームページを
平成21年12月25日（金）からご覧いただけます。

<http://www.tagasapo.org>

ホームページでは、
利用のしかたやたがサポで実施する事業の紹介、
市民活動お役立ち情報のダウンロードなどができます。
多賀城で活動している市民活動団体を検索できるコーナーなども
準備中。

スタッフブログ・たがさぽPress
(<http://blog.canpan.info/tagasapo/>)
同様、どうぞよろしくお願いいたします。



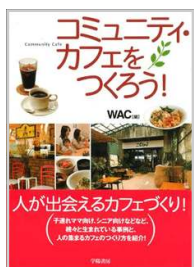
たがサポブックレビュー

「たがサポ文庫」の中から、スタッフおすすめの1冊を紹介します。



『コミュニティ・カフェを つくろう!』

編 者：WAC（社）長寿社会文化協会
発 行：学陽書房 発行日：2007年12月10日



★E2-003コミュ
ニティビジネス
の棚にあります

人と人とのつながりの持てる自由空間、気軽に支え合い、居場所ができるカフェのことを「コミュニティ・カフェ」といい、今全国的に広がりつつあります。この本では、地域コミュニティの再生を目的とした、人の集えるカフェ作りをわかりやすく紹介しています。

「みんなが気軽に立ち寄れてホットできる場所を作りたい」

という思いや、身近に助けたい人がいるという強い思いを具体化したい時に、コミュニティ・カフェはひとつの解決策になります。

思いはあるけれどどこから手をつけたらいいのかわからない…と悩んでいる方には、開店するにあたっての資金作りから場所選び、営業する上で長く続けていくためのポイントなどがわかりやすく書かれていて参考になります。レストランタイプから地域のお茶の間など特徴的な5つのカフェの実例も掲載されています。

おしゃれなカフェを開いてみたいという思いを一度は抱いたことのある方や、コミュニティ・カフェという言葉が気になった人におすすめの1冊になっています。

【スタッフ 木村由美子】

■たがサポ文庫
情報サロン内にある市民活動に関する図書・雑誌が貸出・閲覧できます。

■図書販売コーナー
NPO・市民活動団体が発行する図書（報告書、パンフレット等）を販売しています。
詳しくはお問い合わせください。

- お預かりします：NPO・市民活動団体が発行する図書等をお預かりし、市民の皆さんへ販売をしています。自分たちの活動を広く知ってもらう機会となるだけでなく、団体の収益にもつながります。
- 購入できます：一般の書店では見つけにくい団体の書籍もあります。購入していただくことで、団体をより深く理解することができるとともに、団体の支援にもつながります。



たがサポ事業紹介

平成21年度に「たがサポ」で行う講座やイベントをご紹介します。みなさんのご参加をお待ちしています！



●NPOいちから塾

NPOについて知りたい方へ、実際に活動している団体を紹介しながらNPOの基礎情報をわかりやすくお伝えします。たがサポ活用方法がわかる館内ガイドツアーも行います。(要事前申込)

日時:平成22年2月13日(土)
13:30~15:00

●さぼせん広場

今後のさぼせん広場は、下馬地区・大代地区へ出前する予定です。

●「地元企業による地域貢献・社会貢献活動調査」実施中

多賀城市内にある事業所のみなさんを対象に「地元企業による地域貢献・社会貢献活動調査」を実施しています。調査結果は、平成22年2月22日(月)に実施する報告会のほか、たがサポホームページ、「た+すと」などで公開します。

なお、報告会の詳細が決まり次第、ブログ等でお知らせします。

● 年末年始休館日のお知らせ ●

平成21年12月28日(月)~平成22年1月4日(月)まで休館します

平成21年はお世話になりました。
平成22年もどうぞよろしくお願ひいたします。 たがサポスタッフ一同



■『たがサポ』とは？

市民の皆さんが行うまちづくりや地域づくりにつながる活動を総合的に応援することを目的として設置した施設です。市民・自治会・学校や企業の皆さんとの間で協働によるまちづくりを推進することも目的としています。

閉館時間:月~土曜日 午前9時から午後9時30分まで
日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで
休館日:毎週水曜日(水曜が休日の場合、翌日)
年末年始(12月28日~1月4日)
交通案内:JR仙石線多賀城駅より徒歩12分
駐車場・駐輪場があります

■『たがサポ』の機能って？

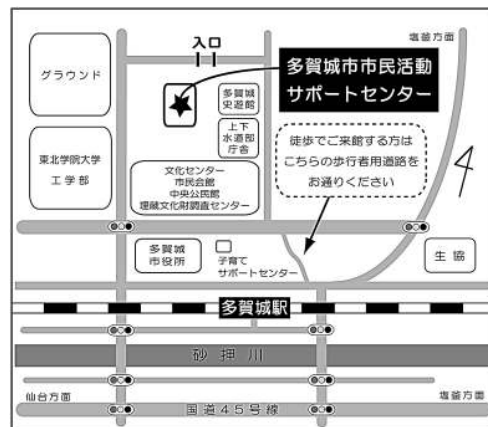
- ①市民活動の場の提供
 - ・貸室(有料)
市民活動の研修やイベント、会議等に使用できます。
 - ・交流サロン(予約不要・無料)
少人数の打合わせや事務作業などに利用できます。
 - ・レターケース(無料) ※利用申込受付中
 - ・ロッカー(200円/月) ※利用申込受付中
 - ・事務用ブース(1,000円/月)
 - ・印刷作業室
印刷機(用紙持ち込み/1製版100円/500枚)
コピー機(10円/枚)
 - ②市民活動に関する情報の収集・提供
 - ・情報サロン
市民活動に関するさまざまな情報があります。
チラシ・ポスターの受付、図書(閲覧用)、
助成金情報、ボランティア情報、パソコン
(作業・インターネット用/無料)
- ※団体紹介パンフレット・イベントチラシなどをお持ちください！
- ③市民活動に係る人材の育成・支援
 - ④市民・企業・行政の連携及び交流の推進
 - ⑤市民活動に関する相談への対応



多賀城市市民活動サポートセンター事務局の
スタッフによるブログです。ぜひご覧ください！
<http://blog.canpan.info/tagasapo/>

■たがサポは皆さんに支えられています

□自動販売機の設置
たがサポ内に設置している自動販売機の売り上げの一部は、多賀城市内の市民活動の推進のために使われます。協力企業:宮城中央ヤクルト販売(株)
□印刷作業室のコピー機
印刷作業室のコピー機は、コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社の市民活動を応援するという趣旨により、社会貢献価格にてご提供いただいています。



□発行:多賀城市市民活動サポートセンター
〒985-0873 多賀城市中央二丁目25-3
TEL:022-368-7745 FAX:022-309-3706

□発行日:2009年12月20日
□編集:特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター